



## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー

コード番号 9702 URL <http://www.isb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 若尾 逸雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 太田 道也

TEL 03-3490-1761

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	5,652	7.5	144	22.6	176	42.6	71	△62.8
24年12月期第2四半期	5,257	8.6	117	—	124	—	191	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 136百万円 (△30.7%) 24年12月期第2四半期 197百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	17.00	—
24年12月期第2四半期	45.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	5,941	4,253	66.9
24年12月期	5,840	4,275	68.8

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 3,974百万円 24年12月期 4,016百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	13.2	360	57.9	396	47.4	247	△25.2	59.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料3ページ「2. (2) 四半期財務諸表の作成に特有な会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	4,521,000 株	24年12月期	4,521,000 株
25年12月期2Q	345,206 株	24年12月期	345,206 株
25年12月期2Q	4,175,794 株	24年12月期2Q	4,175,794 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月の政権交代以降の各種経済対策や脱デフレに向けた金融緩和等により、前半は円安株高が急激に進行するなか景気回復ムードが高まりました。その後は、海外経済環境の不安定要素や实体经济の回復待ち気運から円安株高が一服し、一進一退を続けるなか、先行きに対しては慎重な見方も出てきております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましても、昨年末からの回復基調を引き継ぎ、景況感が高まってまいりました。しかしながら、IT投資に対するコスト意識や費用対効果の要求はより厳しいものとなってきており、高い利便性の提供やコスト削減効果等の実現が強く求められております。このような市場のニーズに適応するかたちで、クラウドコンピューティングの拡大やスマートフォン/タブレット端末普及などが進んでおり、そのようなITの利用形態変化に伴い、M2M (Machine to Machine) や無線通信技術関連および通信インフラ関連分野など新たなサービス分野への展開も進んでおります。

このような環境下、当社グループは、既存主要顧客である大手電機メーカーからの受注量減少を補うべく、医療や車載などを中心とする幅広い組込みソフトウェア開発分野での受注量増加に努める一方、中期経営計画で主要課題のひとつとしている新規顧客の獲得にも鋭意注力しており、新たな受注基盤の確立に向け着実に成果を上げてまいりました。また、これまで収益のほとんどを占めていた受託開発業務に加え、ITサービス事業の拡大に向けた事業モデルの創出など、新規事業の仕組み作りも進めております。この結果、スマートフォン等のモバイル関連分野では売上高が減少したものの、その他の分野は概ね堅調に推移し、連結売上高は前年同期を上回りました。

利益面においては、連結売上総利益率が前年同期に比べ0.4ポイント低下したものの、販売費及び一般管理費率が0.7ポイント改善したことで、連結営業利益率・連結経常利益率は前年同期に比べ向上し増益となりました。連結四半期純利益に关しましては、前年同期にノックスデータ株式会社を連結した際、1億43百万円の負のれん発生益を計上したことが影響し、前年同期との比較では大幅な減益となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高56億52百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益1億44百万円（22.6%増）、経常利益1億76百万円（42.6%増）、四半期純利益71百万円（前年同期比62.8%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末において、資産は、59億41百万円と前連結会計年度末より1億円増加いたしました。これは主として現金及び預金等の増加が受取手形及び売掛金、投資有価証券等の減少を上回ったことによるものであります。

負債は、16億88百万円と前連結会計年度末より1億22百万円増加いたしました。これは主としてその他流動負債に含まれております前受金、支払手形及び買掛金等の増加が受注損失引当金等の減少を上回ったことによるものであります。

純資産は、42億53百万円と前連結会計年度末より21百万円減少いたしました。これは主として利益剰余金の減少によるものであります。

なお、自己資本比率は 66.9%と1.9ポイント低下いたしました。

#### 2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7億16百万円の増加となり、前連結会計年度末（平成24年12月31日）の資金残高8億43百万円に、当第2四半期連結累計期間に増加した新規連結子会社の資金残高17百万円を加えた7億33百万円を受け、当第2四半期末の資金残高は15億77百万円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は5億63百万円の増加となりました。この増加は主として税金等調整前四半期純利益1億66百万円、売上債権の減少4億83百万円等の資金の増加要因が、受注損失引当金の減少1億96百万円、たな卸資産の増加94百万円等の資金の減少要因を上回った事によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は2億29百万円の増加となりました。この増加は主として投資有価証券の償還による収入3億円等の資金の増加要因が、無形固定資産取得による支出75百万円等の資金の減少要因を上回った事によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は84百万円の減少となりました。この減少は、配当金の支払額83百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの第2四半期連結累計期間までの業績は概ね期首計画に沿って推移しており、当期の通期業績予想に関しましては、平成25年2月14日に公表いたしました期首の業績予想に変更はありません。今後、通期の業績予想を修正する必要があると判断した場合には、直ちに業績修正開示を行ってまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	855,896	1,590,284
受取手形及び売掛金	2,380,204	2,035,083
有価証券	77,550	198,300
商品	8,225	53,169
貯蔵品	—	1,584
仕掛品	283,683	334,630
前払費用	71,562	82,105
繰延税金資産	174,666	93,226
その他	41,860	24,249
貸倒引当金	△3,069	△2,377
流動資産合計	3,890,580	4,410,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	346,293	369,271
減価償却累計額及び減損損失累計額	△219,645	△240,843
建物及び構築物（純額）	126,647	128,427
土地	251,259	251,259
その他	146,832	226,437
減価償却累計額及び減損損失累計額	△111,765	△177,613
その他（純額）	35,066	48,823
有形固定資産合計	412,973	428,510
無形固定資産		
その他	92,302	138,890
無形固定資産合計	92,302	138,890
投資その他の資産		
投資有価証券	844,819	473,558
関係会社出資金	119,295	—
長期前払費用	2,544	4,594
差入保証金	138,063	154,877
会員権	1,100	1,100
繰延税金資産	316,201	320,925
その他	74,764	29,369
貸倒引当金	△51,671	△20,175
投資その他の資産合計	1,445,118	964,250
固定資産合計	1,950,394	1,531,651
資産合計	5,840,974	5,941,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	517,578	575,793
短期借入金	70,000	70,800
未払金	289,160	325,253
未払費用	14,539	22,038
未払法人税等	53,611	40,107
未払消費税等	49,245	76,713
賞与引当金	15,104	15,398
役員賞与引当金	—	720
受注損失引当金	204,773	8,322
その他	181,440	365,825
流動負債合計	1,395,453	1,500,972
固定負債		
長期未払金	11,948	11,948
退職給付引当金	11,398	23,168
役員退職慰労引当金	103,057	108,051
資産除去債務	43,956	44,387
固定負債合計	170,360	187,555
負債合計	1,565,814	1,688,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,440,600	1,440,600
資本剰余金	1,970,600	1,970,600
利益剰余金	914,583	859,056
自己株式	△304,528	△304,528
株主資本合計	4,021,254	3,965,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,520	33,918
為替換算調整勘定	—	△24,946
その他の包括利益累計額合計	△4,520	8,972
少数株主持分	258,426	278,677
純資産合計	4,275,160	4,253,377
負債純資産合計	5,840,974	5,941,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,257,934	5,652,004
売上原価	4,540,848	4,903,670
売上総利益	717,085	748,334
販売費及び一般管理費	599,498	604,147
営業利益	117,587	144,187
営業外収益		
受取利息	5,184	4,441
受取配当金	2,278	4,714
受取保険金	—	13,360
助成金収入	5,352	—
為替差益	—	4,421
その他	8,111	7,548
営業外収益合計	20,927	34,486
営業外費用		
支払利息	4,424	595
社債償還損	5,794	—
その他	4,223	1,177
営業外費用合計	14,441	1,773
経常利益	124,072	176,900
特別利益		
負ののれん発生益	143,436	—
その他	2,850	—
特別利益合計	146,286	—
特別損失		
減損損失	9,787	—
関係会社株式評価損	26,060	—
投資有価証券償還損	—	1,583
助成金返納金	—	6,523
その他	7,893	2,352
特別損失合計	43,740	10,458
税金等調整前四半期純利益	226,618	166,441
法人税、住民税及び事業税	26,011	8,232
法人税等調整額	11,681	64,424
法人税等合計	37,692	72,657
少数株主損益調整前四半期純利益	188,925	93,784
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,131	22,781
四半期純利益	191,057	71,003

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	188,925	93,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,077	38,439
為替換算調整勘定	—	4,398
その他の包括利益合計	8,077	42,837
四半期包括利益	197,003	136,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,134	113,841
少数株主に係る四半期包括利益	△2,131	22,781

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	226,618	166,441
減価償却費	36,564	45,316
減損損失	9,787	—
負ののれん発生益	△143,436	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,491	△702
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,657	294
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	720
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	1,999	△196,451
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,349	3,861
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,485	4,994
受取利息及び受取配当金	△7,463	△9,155
助成金収入	△5,352	—
受取保険金	—	△13,360
支払利息	4,424	595
社債償還損	5,794	—
関係会社株式評価損	26,060	—
売上債権の増減額 (△は増加)	173,461	483,111
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△119,489	△94,354
仕入債務の増減額 (△は減少)	46,627	57,118
未払金の増減額 (△は減少)	△14,555	15,403
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,923	26,178
長期未払金の増減額 (△は減少)	△784	—
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	18,307	14,305
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△14,257	50,192
その他	2,397	△5,560
小計	277,610	548,948
利息及び配当金の受取額	7,742	9,820
利息の支払額	△4,424	△597
助成金の受取額	11,790	—
保険金の受取額	—	13,360
事業構造改善費用	△429,962	—
法人税等の支払額	△31,495	△8,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	△168,739	563,260

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,019	△3,522
定期預金の払戻による収入	205,003	2,920
有形固定資産の取得による支出	△15,598	△8,019
無形固定資産の取得による支出	△2,731	△75,276
投資有価証券の取得による支出	△9,345	△341
投資有価証券の売却による収入	202,850	—
投資有価証券の償還による収入	—	300,000
敷金及び保証金の差入による支出	△7,645	—
敷金及び保証金の回収による収入	16,710	—
関係会社の整理による収入	68,956	—
長期前払費用の取得による支出	423	△796
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	502,598	—
その他	3,081	14,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	961,284	229,714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	800
長期借入金の返済による支出	△300,000	—
社債の償還による支出	△205,794	—
配当金の支払額	△42,571	△83,156
少数株主への配当金の支払額	—	△2,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△548,365	△84,886
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	7,988
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	244,180	716,076
現金及び現金同等物の期首残高	1,240,716	843,818
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	17,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,484,897	1,577,604

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平24年1月1日 至 平成24年6月30日)

当社グループは、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平25年1月1日 至 平成25年6月30日)

当社グループは、株式会社ISBパーソナルサービスおよびISB Vietnam Co., Ltdを連結範囲に含めたことに伴い、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務および情報加工サービス業を報告セグメントとしておりますが、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の割合が高く、情報開示としての重要性が乏しいため、セグメント別の記載は省略しております。